

市議会だより おおまち

196号

令和6年11月1日発行

9月定例会号



議会だよりライブラリーで
過去の議会だよりも見ることができます

- 特集**
- 令和5年度決算審査報告 …… 2～3ページ
 - 令和5年度事務事業評価報告 …… 4ページ
 - 意見交換会報告 …… 11・13ページ
 - みんなのひろば …… 16ページ



表紙写真 |
一流の演奏家と夢の共演

大町流鎗馬太鼓50周年記念
コンサートで世界を舞台に活
躍する和太鼓奏者、林田ひろ
ゆき氏がゲスト出演した。
撮影者：太田昭司

●表紙の写真を募集します！

一般会計 歳入186億円余 特別会計・歳入110億円余
歳出181億円余 企業会計 歳出104億円余

9月議会は決算議会と言われ、決算審査特別委員会において前年度の事業を評価検証します。市民のお金はどう使われたか、事業が効果的に実施されたかを検証し、成果や課題を洗い出すことが次年度予算への提言につながります。

委員会では、下記のような意見が出されました。意見が次年度へどう反映するか、3月議会の予算審査にて検証します。

水道

簡易水道事業の健全な経営を

委員会審査

問 地方公営企業法適用で、一般会計からの繰入金はどうなるのか。

答 過度な一般会計からの負担にならないよう、事業の効率的な運営に心がける。

提案 特別会計としては最終年度となるが、これまで一般会計から多くの財源が繰入れられていた。企業会計の移行にあたり、経営理念をしっかり持った運営を求める。



大町の豊かな水

くらし

公民館の熱中症対策

冷房施設の設置

委員会審査

問 各公民館における熱中症対策は。

答 冷房設備の設置状況は、大町・常盤公民館は、完備。八坂公民館は、一部完備。社・美麻公民館は、未設置。

提案 冷房設備が設置されていない公民館があるため、全ての公民館に設置されるよう、計画的な整備を期待する。



常盤公民館のエアコン

まちづくり

やまびこまつりで地域活性化

委員会審査

問 やまびこまつりの課題は。

答 アフターコロナという事で制限されていたところもあるが、参加連が少なかった事が課題である。

提案 やまびこまつりの運営・在り方について、検討を求める。



夏の恒例行事「大町やまびこまつり」

読みたい本が借りられるということをより多くの市民に知ってもらうために、制度のPRを拡大してほしい。

提案

観光

八坂の振興資源を活かせ

委員会審査

問 大姥山周辺は、テレビにとりあげられ観光客が増えた。トイレの使用状況と管理状況は。

答 去年の3倍から4倍、人が来ていると聞いている。トイレについては地元の方の協力のもと、清掃されている。

提案 八坂地区には、大姥山を筆頭に多くの観光資源が存在している。今後もこれを生かすよう、事業に取り組んでほしい。

教育

図書資料購入について

図書館は、年間約3300冊の蔵書購入を行っている

委員会審査

問 全部で3300冊の購入に対し、リクエスト購入が49冊と少なく感じるが。

答 リクエストが少ないのはPR不足。近隣図書館から取り寄せもできるので、それも含めて制度をPRしていきたい。

令和5年度 事務事業評価

決算審査と合わせ、昨年度の事務事業について、特に検証が必要と考える9事業をピックアップし、「拡充」「現状のまま継続」「改善のうえ継続」「見直し」の4項目に分類評価しました。評価にあたっての議論や意見の主なものは下記のとおりです。

■第1分科会審査

1 ふるさと応援団事業

改善の上
継続

- 自治体への寄附による自主財源確保や返礼品による地域産業の活性化

体験型返礼品の拡充など
市独自の返礼品の開発を求める。

改善の上
継続

2 定住促進事業

- シビックプライドの醸成による転出抑制や地域の魅力発信による移住促進

移住希望者に事前ツアー等で、市の良い点、悪い点を十分説明し、自治会・先輩移住者との連携を求める。

改善の上
継続

3 仁科三湖振興事業

- 周辺観光施設の維持管理や環境整備による観光振興

環境保全と観光振興を両立し、仁科三湖周辺の振興策や、利用ルールの策定を求める。

改善の上
継続

4 山岳観光推進事業

- 登山環境を整備し、山岳観光を推進

北アルプスや低山帯を包括した山岳観光の振興について具体的なビジョンを示すべき。



登山道の案内標柱を設置

■第2分科会審査

5 地域包括ケア実践事業

改善の上
継続

- 地域の関係機関等が連携し、高齢者を地域全体で支えられる体制づくり

地域ケア会議への市民参加を促し、高齢者のニーズを把握し、ニーズに合わせたサービスの提供を求める。

6 子育て支援等総合相談事業

改善の上
継続

- 子育ての悩みを抱える家庭の身近な相談窓口

様々な悩みに対応するため相談窓口をワンストップ化する「こども家庭センター」の早期開設を求める。

改善の上
継続

7 子育て世代包括支援センター事業

- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する

執行率のチェックを四半期に一回は行うことと、事業の周知を求める。

8 スポーツ振興事業

改善の上
継続

- 個人や団体スポーツ活動の充実、地域コミュニティの活性化推進

部活動の地域移行に向けた速やかな対応を求める。新しいスポーツの振興にも取り組んでほしい。

9 総合診療医育成事業

改善の上
継続

- 信州大学医学部附属病院総合診療科と連携し、総合診療医を育成する事業

安定した大町病院の運営にとって総合診療医など医師確保は特に重要。特別な注力を求める。

一般質問

各議員の一般質問の様子を大町市ホームページ内の議会中継映像で見ることができます。QRコードからアクセスしてください。

コロナ明けの病院決算の見通しは



政友クラブ 大竹 真千子

Q 令和5年度決算の評価と見通し、収益率改善のための対策は。

A コロナ関連の補助金等が減収となる一方、人件費の増加、原材料費等の高騰により経営が圧迫されたが、病床機能の適切な運用、積極的な患者の受け入れにより純利益は約9千万円を計上した。救急体制については過去最高の受け入れ実績となった。地域救急貢献率47・4%となり、全国値19・3%を大きく上回った。在宅復帰率も93・8%と全国中央値の89・5%を上回る形となった。医師の働き方の面も各所と調整の上、24時間365日対応ができる体制を確保した。医療の質の改善については、他の病院や全国の数値と当院のデータを比較し、客観的な数値目標を設定するようにし、医療安全、感

トイレでまちのイメージが決まる



峻嶺会 傳刀 健

「日本のトイレ」道の駅で年間100万人

Q 市内小中学校及び幼稚園、保育園のトイレ洋式化率は。

A 大町中は100%。再編後の新小学校でも90%以上。八坂小中後期課程は早期に改善を図っていく。幼稚園100%、保育園93・3%。

Q 家庭の洋式化率は97%。小さい子どもたちや足腰の痛い方は和式を使えない。道の駅「パティオにいがた」はトイレが有名で、年間100万人の観光集客があるという。市の公衆トイレの状況は。

A 観光施設では洋式化率53%。観光地のトイレは観光客の体験価値を高める重要な施設と認識している。最適なトイレ環境を目指す。
Q 建設課所管では洋式化率42%



中綱湖畔トイレ。市の貴重な観光財産として、整備を急ぐべき。

保険証発行停止を撤回し残せ



日本共産党大町市議員
宮田 一男

保険証発行停止後の対応は

- Q** マイナ保険証の利用状況は。
A 大町病院は、7・8％。八坂・美麻診療所は、1・6％。
- Q** 現行健康保険証は12月2日から発行停止だが、以降の対応は。
A 現行健康保険証所持者で、マイナ保険証を保有していない方には、被保険者資格の情報を記載した「資格確認書」を申請によらず交付する。期限は1年間とし、現行健康保険証と同じ有効期限とする。
- Q** マイナンバーカードの電子証明書の有効期限切れの者に対する資格確認書の発行時期はいつか。
A 期限後3ヶ月利用できる。マイナ保険証を継続しない場合、資格確認書を発行する。

配水ネットワーク構築を

- Q** 上水道管路の耐震化率は。
A 耐震化率は、8・8％。耐震化適合率は、34・4％。
- Q** 震災時にも配水できる管路のネットワークはあるか。
A 上白沢水源、白沢水源、矢沢水源は、バックアップ体制あり。
- Q** 被災想定に基づく、配水系統相互運用計画はあるか。
A 上白沢水源と居谷里水源を結ぶ管路は一部整備されている。



全国保団連作成ステッカー
「いままで通り保険証を使います」

空気を乗せて走るバス



市民クラブ
中牧 盛登

循環線とデマンドの改善

- Q** 市街地循環線の区域は、市民バスの利用対象者が全体の45％、高齢者人口も全域の半分近くが暮らしている区域だが、市民バスの利用者が少ないのはなぜか。
A 循環線については、当初、市街地の中を循環するという目的で運行を開始したが、交通の空白地点を埋めるために循環線を活用した。そのため、運行時間が長く使いにくいバス路線となっている。
- Q** 循環線の利便性について検討する考えはないか。
A 現状は、循環線の利便性を考えたコース設定になっていない。交通計画を策定する中で、循環線の目的は何なのか、もう一度考え直してみたい。



利用しやすい市民バスへ

セクハラ被害者救済を急げ



無所属クラブ
高橋 正

Q 昨年度のセクハラ事件では、関係職員の無責任な発言や対応が続き、いまだに問題をこじらせている。当時私は被害者からの相談を受けて、「念のためあなたの身に起きたことの一部始終を正確に、時系列で記録してください。感情は入れないでください。」と彼女に伝えました。今その内容を読むと、セクハラの実質性はもちろん、それ以上に周囲の関係職員・上司などの対応・発言が、より問題をこじらせて、その上人権問題でも二次被害を発生させている。これを見た他の女性職員には「もし自分にセクハラが起きても、自分は守られない」といった新たな恐怖が芽生えたと思う。私は市長をはじめ関係各者に猛反省を求める。本当の被害者救済を急いでくれ。



大町市役所こそ人権を守る手本を示してくれ

A 「ハラスメント対策検討委員会の報告にあった被害者との意思疎通や、信頼関係の構築に課題があった」との指摘は、今も気持ちの中にわだかまりとなって残っている。信頼が薄れた中で新たにどう接点を見いだせるか。その糸口さえ脳裏に浮かばなかった。

議員の率直な提案を真摯に受け止め、被害者の精神的な負担、今なお残る心の痛みや心情に十分配慮し、被害者自身の意向も確認したうえで、安心して対話ができる環境を検討していきたい。

大町に防災道の駅は必要だ



峻嶺会
一本木 秀章

防災道の駅の構想は。

A 道の駅については、現在、県が進めている松本糸魚川連絡道路の整備に併せ検討に着手しており、具体的な検討の前段として、様々な分野の有識者からなる大町市道の懇話会を発足させ検討している。

整備手法は、駐車場、トイレ、情報発信の施設を道路管理者が行い、物産館やレストランなどの地域振興施設を市町村で整備する一体型と、すべてを市町村で整備する単独型があり、個性豊かな賑わいの場として、防災面での重要な役割を果たす防災道の駅について検討を進めている。

Q 多機能道の駅の構想は。
A 国土交通省の、道の駅第3ステージの取組みの一環で、都道府県の地域防災計画等で、広域的な防災

拠点に位置付けられている多機能道の駅は重要な防災拠点になる。多機能道の駅の設置はハードとソフト面で要件があり、この要件を満たす事が前提として検討する。

地域計画で農業の将来は

Q 地域計画で農業は変わるか。
A 農地は耕作地としての側面だけでなく、良好な景観形成や自然環境の保全、水源の涵養など、多面的な機能を有し、地域と農業を一体的に考慮した計画に努める。



道の駅は防災機能を備えた「第3ステージ」へ進化しています

猛暑対策はどうなっている



日本共産党大町市議員 栗林 陽一

Q 昨年も質問したが公民館へのエアコンの設置は進んでいるのか。
A 市役所改修工事に伴い不要となるエアコンを大町公民館分室、平社公民館の事務所に移設する事になっている。未設置の施設についても順次設置していく。

Q 長野県に熱中症特別警戒が発表されたときに開放されるクーリングシェルターの場所はどこにあるのか。
A 設置場所は、大町市役所内旧食堂、市立大町図書館、大町公民館分室講堂及び会議室、常盤公民館、八坂支所の6カ所に設置している。

Q クーリングシェルターの設置されていない地区の今後の予定は。
A 市内各地に設置することが望ましいので順次必要な個所に設置を計画していきたい。



熱中症特別警戒が発表された場合はクーリングシェルターの利用を

Q 高齢者は熱中症になる確率が高いが、市の総合福祉センターにはクーラーが設置されているのか。
A 市内3カ所の総合福祉センターのうち大町と八坂の総合福祉センターには全館設置している。美麻は保健センターを除き設置している。
Q 美麻の総合福祉センターは、レンタルのクーラーだが、設備としてのクーラーは設置しないのか。
A 現在レンタルによる一時的な設置にとどまっているが、今後は計画的に整備していく。

子ども家庭センター開設は急務



政友クラブ 西澤 和保

Q 異次元の子育て支援策の為に子ども家庭センターの役割は。
A 産前産後ケア、児童虐待の予防や家庭支援など幅広い子育て支援を目的に設置を検討している。

Q 子ども家庭センターの設置が早急に求められているが、いつか。
A 令和7年度4月より設置し、子育て支援課、保健センター・教育委員会関係機関等、より連携の強化と効率的な運用を目指す。

Q 県では奨学金を借りている若者に対し企業が返還を支援する「奨学金返還支援制度」を設けて

奨学金返済の支援と地元企業の人材確保の制度を

いるが、大町市も同様の制度にて若者の奨学金返済支援と企業支援を行えないか。
A まずは、県の支援制度を地元企業へ周知し、若手人材確保と合わせて支援策を検討したい。

Q 社会人としてのスタート時点で300万円を超える返済金を抱える若者と、人材確保を求める企業支援をマッチングさせる取組として将来的な市の人口増加の施策となるか。
A 支援対象の若手労働者や企業の声を基に、双方の支援とUターン施策も含め、多面的に検討したい。

Q 産前・産後から大人になるまで、切れ目ない子育て支援の充実を



産前・産後から大人になるまで、切れ目ない子育て支援の充実を

市民の反乱が起きる



堀 堅一

Q 自治会の問題は住民の高齢化、役員の担い手不足、文書配布の負担の3点だ。特に文書配布については、市は長年にわたり、いくつかの自治会で隣組長宅すべてに市の広報を配達していることを認めている。一方でまとめてドッサリと配達される自治会もある。

Q 自治会の問題は住民の高齢化、役員の担い手不足、文書配布の負担の3点だ。特に文書配布については、市は長年にわたり、いくつかの自治会で隣組長宅すべてに市の広報を配達していることを認めている。一方でまとめてドッサリと配達される自治会もある。

長い間この配達格差を、放置し先送りしてきた市の責任は重い。この格差を放置すれば市民の反乱がおきてもしょうがない。
A 今後の対応として、文書配布に大きな負担のある自治会に対して早急に改善を図る。来年の一月から



配り方による自治会負担は平等にせよ。自治会役員泣かせはダメ。

Q 市は文書配布費として自治会に1065万円を配布している。私の試算では市内すべて892カ所の隣組に運送便で送った場合でも年321万円だ。現予算の3割ほどの金額ですべて解決できる。連合自治会にお願いをして、10月からでも始めるべきだ。
A 十分な周知期間が必要だ。しかしながら、自治会の加入率が年々低下して、担い手が減少する中、自治会の負担軽減は喫緊の課題でもある。来年の1月からの対応を目指し、手法を含めて検討を進めていく。

子育て日本一って何ですか



市民クラブ 小澤 悟

Q 当市の子育て支援は市民のニーズに合っているのか。
A アンケート調査を実施し、ニーズの把握に努めている。ニーズすべてに対応することは難しいが、できるだけ対応できるように努める。

Q 保育園の安全対策で防犯カメラの設置は、できるのか。
A 物理的にはできる。検討する。

Q 母子通園施設あゆみ園は、病院に併設され園庭や遊具がない。空いている保育園を活用できないか。
A 空き教室はなく、活用は不可能である。小学校再編後の空き教室を活用できないか検討する。

Q 当市には教育大綱はないが、策定する考えはあるのか。
A 新小学校スタートの令和8年にあわせて、教育の羅針盤となる教

育大綱を策定することが望ましい。
みずのプロジェクト
Q 課題は。
A 市民の認知度が低いこと。
Q 高校生活を巻き込んだ*2水育は、できるのか。
A サントリーと協議し検討する。
Q 水のブランド化の進捗状況は。
A 令和の水百選に選ばれるよう当市の良質な水をアピールする。
Q 中央通りに水を流す計画は。
A 国の再生事業を活用し、せせらぎとして見せられるよう検討する。



園庭や遊具の無いあゆみ園

用語解説

- *1 奨学金返還支援制度…県内企業への若年者を中心とした人材確保と奨学金を借りている従業員に対し企業が奨学金の返済を支援する長野県の支援制度。
- *2 水育…子どもたちが、未来に水を引き継ぐために何ができるかを考えるサントリー独自のプログラム。

日本の男女格差、世界118位



おおた しょうじ
太田 昭司

相当する関係と認める「長野県パートナーシップ届出制度」の詳細についてお聞きする。

Q 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた市の取り組みは。

A 市では男女共同参画コミュニケーションや推進団体の協力によりフォーラムや各地での学習会を開催しているが、いまだに性別役割分担意識は根強い。今後はさらに広報や教育現場での取り組みを強化する。

Q 婚姻届の「婚姻後の夫婦の氏」の選択欄について、「記入例」ではすでに「夫の氏」の方にチェックが入っている。これは「夫の氏」を選択するのが当然だという意識を植え付けかねない。改善できないか。

A 記入例を見直し、窓口で丁寧にご案内することとする。

LGBT支援について

Q 同姓同士のカップルを婚姻に



男女平等に遅れをとる日本。性別役割分担意識の解消は急務だ。

A 現段階では条例制定は予定していないが、今後の国の動向を注視し慎重に検討していく。

Q この制度により同性のカップルでも本市において、市営住宅への入居、パートナーが親権者と共に行う保育施設への入所申込・送迎、大町病院における緊急治療への同意、罹災証明の代理申請などができる。

A 大町市の「性の多様性に関する条例」の制定を提言する。

市長はハラス発言の責任を取れ



おおわ よしひさ
無所属クラブ 大和 幸久

Q 過日、女性団体有志で構成された「大町をよくする会」が「真実を知る」と銘打って被害を受けた職員の声聞く会があった。

A 一回目の女団連の際は不適切或いは勘違いで発言したことについて反省している。二回目の懇談で、陳謝・説明して理解を求めた。

Q 具体的な事例でうかがう。市長は女団連との席で「加害課長と女性職員は実は長い間同じ職場であった」と発言したが、女性職員から、資料を基に「事実と違う、私は一度も同じ職場であったことはないです」と抗議されている。市長はこの事実を認めるかがうかがう。

A そういう事実はないと抗議を受けた。これ以上の詳しい私の考えを述べると、いろいろな事情や差し支わりがあるので答弁を拒否する。「同じ職場であった」という発言は取り消している。これは陳謝しながら取り消すことだ。

Q 市長が自らの発言の責任を認めその責任に対する相応な処分を自らに課さなければ、女性職員をはじめ市民は納得するものではない。

A また、市長をはじめ大町市政に対する不信任は払拭されない。被害職員の安全を第一にする。



市政への信頼は地に落ちている。市民に説明責任を果たすこと。

自分らしく生き続けられる地域へ



なかむら なおと
政友クラブ 中村 直人

思い・支え合う「重層的支援体制」をどう創るか

Q 安心して生活し続けられる地域を作る「みんな考えようプロジェクト」は、情熱ある職員や市民、介護・医療関係者が集まり活動している。まさに地域で様々な人が支え合う重層的支援体制だ。どう活かすか。

A 分野を超え支援者や市民が繋がる活動だ。今後は担当課も関わり、使いやすい公共交通づくり等にも取り組む。その後も市民や民間事業者とともに支援体制を構築する。

Q 高齢者支援についてだが、趣味のある方は健康寿命も長い。市内の文化活動グループなどへの参加を促進する仕組みをつくれぬか。

A 生涯学習の場とも連携を一層

推進していきたい。

Q 地域の「困った」の声を集める民生委員さんをどう支えていくか。

A 行事削減等、負担軽減を行う。

Q 次に障がいがある方の支援について。社協の利用者さんと、中学生で無農薬のお米作りをしている。給食等のため買い上げられないか。

A 前向きに検討する。

Q 最後に地域医療について。八坂診療所の医師が退職した。診療の安定のために大町病院の役割を強化し医師の派遣等を可能に出来ないか。

A 病院との連携を強化する。



社協の利用者さん達と作る有機米は、学校給食等で活用される予定

用語解説

※3重層的支援…一つの組織では解決が難しい課題を持つ方をサポートするため、地域のつながりを活かし取り組む支援。

公立学校 教職員組合との意見交換会

令和6年8月19日(月)、公立学校教職員組合の皆さんと意見交換会を行いました。

市として対応できるもの、国に向けて声を上げるものと、それぞれの意見をもとに対応していきます。

今回は、主に不登校の児童数が増えている状況について、社会的背景、現状、児童・先生方の置かれている状況、諸々を踏まえ考えられる要因などの説明を受けました。また、国の制度などで戸惑う点などを先生方から伺うと共に、長時間勤務の状況、英語教育の現状、部活動の地域移行などの課題について、先生側、議員側双方から忌憚らない話が出る場となりました。議会では、



教職員組合と議会との意見交換会を行った

議員が質した^{ただ}9月定例会

こんなことが決まりました！

議案第46号 令和6年度大町市一般会計補正予算(第3号)

■結果 全会一致で可決

通学路の安全を確保

議案の概要 旧大町北高南側の道路の拡幅に關わる現地測量及び概略設計業務の委託

委員会審査

Q 何人くらいが使用する予定か。

A 小学校再編に伴う大町北部小学校と中心市街地を結ぶ主要道路の安全対策として国道147号の大町北高前交差点から東側本通りまでの市道大黒町5号線、延長360m間に、両側2.5mの歩道新設を予定。正確な数字は掴んでいないが100名以上は使用する見込み。

議案第53号 令和6年度大町市病院事業会計補正予算

■結果 全会一致で可決

コロナ関連補助金の減も黒字維持

議案の概要 大町総合病院 医療機器の更新

委員会審査

Q 大腸ビデオスコープを更新するが、現在の診療に支障はないか。

A 現在使用しているものは、診療に支障はないが、耐用年数を過ぎているため更新する。

議案第42号 大町市犯罪被害者等支援条例制定について

■結果 全会一致で可決

条例制定に向けた整備は万全か

議案の概要 犯罪被害者等支援条例の制定について

委員会審査

Q どの課が窓口になるのか。相談者が、あちこちの課で何度も説明することがないようワンストップでの対応を。

A 一旦は市民活動サポートセンターで受けるが、相談室等の個室で対応し、関係課と連携し、相談者に十分配慮して対応する。

Q どのような支援を予定しているか。

A 子育てや介護等の支援も含めて、日常生活の支援や給付金、遺族に対する見舞金、重傷病見舞金等について考えている。

大町市

連合自治会との

意見交換会

令和6年7月22日(月)午後6時より大町市役所東庁舎にて「大町市連合自治体と議会の意見交換会」を開催しました。

総勢約50名が5班に分かれて、人口減少時代における自治会運営の課題

についてワークショップ形式で意見を交わしました。自治会運営の課題、その要因、そして、その解決策を出し合い、最後に各班ごとに発表を行いました。

どの班からも課題として挙げたのは「役員の成り



班ごとに意見を交換、それぞれ発表をした

手不足」。その解決策として、あて職の削減など、すぐに実行可能な案も出されました。今回の意見交換会を通じ、連合自治会の皆様と大町市議会とが問題意識と危機意識を共有することができました。

9月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。



議案第38号

北アルプス広域連合規約の変更について

原案に反対

「虹の家」2年後閉鎖が前提
予算では何の問題もないと説明しながら、突然経営危機を持ち出し閉鎖方針を示すのは無責任だ。(大和幸久)

議案第39号

長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

原案に反対

健康保険証をのこせ
健康保険証の廃止は、60年かけて築いてきた世界に誇る国民皆保険制度の破壊そのもの。(宮田一男)

マイナンバー保険証への転換は慎重に
マイナンバー関連法案は、国が関与して個人情報を利用できるもので、個人情報保護が不十分。(大和幸久)

議案第63・64号

工事請負契約の締結について

原案に賛成

業者提案は市にメリットが有る
公募型プロポーザルの業者提案には、本来別途発注の周辺整備等もあり付加価値が高い事から賛成。(西澤和保)

原案に賛成

マイナ保険証は医療DX化の基盤
薬が多すぎる問題への対応や、パンデミック中の速やかな支援金給付等に今後活用される。(中村直人)

次ページは、討論と審議結果

令和6年9月定例会 提出案件の審議結果

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」
議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない

◇賛否が分かれた案件

議案番号等	案件	議員												結果	
		日根	無	無	無	政友	政友	無	無	無	無	無	無		
議案第38号	北アルプス広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	令和5年度大町市一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第58号	令和5年度大町市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第60号	令和5年度大町市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第62号	令和5年度大町市病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第63号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第65号	大町市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情第13号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第14号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第15号	私立高等学校に対する公費助成を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第16号	北アルプス国際芸術祭2024実施後の市民へのアンケート調査等による市民の声も取り入れた検証を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
議事第8号	私立高等学校に対する公費助成を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

◇全会一致で承認・可決・認定・採択された案件

議案番号等	案件	結果
報告第15号	専決処分の報告について 専第22号 令和6年度大町市一般会計補正予算(第2号)	承認
議案第40号	大町市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第41号	大町市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第42号	大町市犯罪被害者等支援条例制定について	原案可決
議案第43号	大町市国民健康保険診療所設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第44号	大町市水道事業等企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第45号	大町市病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第46号	令和6年度大町市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第47号	令和6年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第48号	令和6年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第49号	令和6年度大町市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第50号	令和6年度大町市公営簡易水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第51号	令和6年度大町市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第52号	令和6年度大町市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第53号	令和6年度大町市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第55号	令和5年度大町市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第56号	令和5年度大町市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第57号	令和5年度大町市公営簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第59号	令和5年度大町市温泉引湯事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定
議案第61号	令和5年度大町市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定
陳情第10号	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書提出について	採択
陳情第11号	訪問介護報酬の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書提出について	採択
陳情第12号	大町の裁判所の充実を求める協議会の設立及び活動に関する陳情	採択
議事第5号	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書	原案可決
議事第6号	訪問介護報酬の引き下げ見直しと介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書	原案可決
議事第7号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	原案可決



9月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。

議案第62号

令和5年度大町市病院事業会計決算の認定について

原案に賛成

計画に対し、実利益や預金額等も増補助金減、人件費高騰の中、9千万円を超える純利益を確保。業務改善も進められる。(中村直人)

原案に賛成

マイナ保険証の賛否を議論するものではない。国の健康保険法規定の改正に伴う市の条例改正の内容である。(山本みゆき)

原案に反対

現行保険証を残せ。マイナ保険証のトラブルはまだ続いている。現行保険証は残すべきだ。(栗林陽一)

議案第54号

令和5年度大町市一般会計歳入歳出決算の認定について

原案に賛成

財政運営、事業遂行状況等、概ね良好。自主財源確保も新たな手法を試み、基金運用も効率・効果的な運用を進めた決算内容。(大竹真千子)

原案に賛成

積極的に地域の経済対策に取り組んだ。コロナ禍からの脱却と同時に始まった厳しい社会情勢の中で経済活動の下支えとなった。(山本みゆき)

原案に反対

牛越市政の行政手法に不同意。職員に重負をかけて実施の芸術祭と市民生活無視で進める松糸道路市内区間推進。(宮田一男)

陳情第14号

政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書提出について

原案に反対

不明瞭な部分がある。民間と公立施設等では賃金体系等も異なる。積算根拠や支援の公平性、健康保険料引上げも懸念材料となり反対。(西澤和保)

原案に賛成

賃金アップは、国の責任で支援すべき。看護師や介護職など社会的基盤を担う労働者の賃金は、他産業から比べて低水準。(宮田一男)

原案に反対

芸術祭の二ユースを見ない日は無い。大町市の知名度の向上に寄与。観光客も順調な入込みだ。事業は効果と照らし検証されるべき。(中村直人)

原案に賛成

市職員の動員は問題。パスポート券販売の市職員への割り当て。作品展示会場への職員割り当ては見直しがない。(大和幸久)

原案に賛成

芸術祭終了後に市民アンケートを実施し検証すべき。芸術祭の運営主体は市、職員が多くのサイト管理を担う。市民と職員への調査は必要。(宮田一男)

(訂正とお詫び) 議会だより195号P13令和6年6月定例会最終日討論につきまして、陳情第9号の反対討論の議員名に誤りがありました。お詫びして訂正申し上げます。誤)堀 堅一 → 正)堀 堅一


次ページは、みんなのひろば

みんなのひろば

議員が市民のみなさんの声取材してつくるみんなのひろばです。
今回は部活動にうちこむ中学生のみなさんにインタビューしました。


部活動にうちこむ 中学生のみなさん

- ①入部の理由は
- ②部活の楽しさ
- ③部活の大変さ




- ①奥原希望選手のオリンピック出場を見て自分もやってみたいと思った。
- ②自分の力で1点1点取ることが楽しい。
- ③中学生になってから始めたので初歩的なところが大変だった。先輩になった今、自分が習ったことを教えていくことが大変。

バドミントン部
部長
2年生
まるやま たいし
丸山 泰史さん




- ①アニメ「響け！ユーフォニアム」を見て。
- ②新しい曲に挑戦して、みんなの音が一つに重なって、納得のいく合奏が響いたとき。
- ③楽譜の読み方に躓いたこともあった。3年生になり、まとめる立場になり、部員全員の大会への意識をまとめていくのが大変だったが、貴重な経験ができた。

吹奏楽部
部長
3年生
きんばら あいな
金原 藍菜さん



- ①テレビで張本智和選手が卓球台に真剣に球を入れていく姿を見て自分もやりたいと思った。
- ②課題練習で技術向上を意識すること。
- ③部長としてチームをまとめ、大会でそれぞれの役割を意識させること。勝つために相手の特性を見抜くこと。

卓球部
部長
2年生
ごんの ゆきひと
権野 由貴仁さん



- ①小学生のときアニメ「ハイキュー!!」を見て、やりたいと思った。
- ②チームプレイで勝利を目指すことや、お互いに競争心が出るのが楽しい。
- ③元気な声が出にくいので、キャプテンと部長中心に声を出そうとしている。

女子バレーボール部
部長
2年生
いちかわ なぎさ
市川 渚沙さん

■ 次回12月定例会予定 ■

- 開 会 11月25日(火) 午前10時～
- 一般質問 12月 4日(水)～12月 6日(金)
- 最 終 日 12月17日(火) 午前10時～ 討論・採決

■ 傍聴にお越しの際は ■

- 傍聴をご希望の方は議会棟 2 階の議会事務局で申込書をご記入ください。

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

🔍 大田市議会 議会中継

本会議の
生中継

あ っ ぐ ぎ
今年の夏も昨年に
続き猛暑が続きまし
た。市政をチエック
することは議員とし
て当然ですが、同時
に、市民も市政に注
目し意見を言う事も
大事ではないでしょ
うか。

(栗林陽一)

議会だより編集委員 【委員長】 一本木秀章 【副委員長】 大和幸久
【委員】 植松悠一郎 中村直人 栗林陽一 小澤悟 大竹真千子 山本みゆき

